かまくら議会だより

平成１５年１１月１日第１８３号

鎌倉市議会

鎌倉市御成町18番10号
電話０４６７（２３）３０００
http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/gikai/index.htm

編集発行
鎌倉市議会広報委員会

９月 定例会

平成14年度決算を認定

介護保険サービスなどに意見

平成十五年九月定例会は、九月十日に開会し、十月二日までの二十三日間にわたって審議を行いました。今定例会では、初日に議長をはじめとする役員の改選を行いました。また、九名の議員が一般質問を行い、市長から提出された不動産の取得、特定事業契約の締結、鎌倉市市税条例の一部改正や平成十四年度の一般会計及び六特別会計の歳入歳出決算の認定など二十三議案を可決・認定するとともに、二件の人事案件に同意しました。

また、議員から提出された「外国船舶の船主責任保険への加入を義務づける法制度等の整備に関する意見書」提出議案を可決しました。このほか、陳情四件を不採択としました。なお、八月十一日に「山一土地株式会社の特別清算に伴う広町緑地の都市林整備について」、十月二日に「鎌倉市土地開発公社の業務代行について」議会全員協議会で報告を受けました。

《主な内容》

○決算認定議案……１面
○議長・副議長あいさつ…１面
○一般質問……２・３面
○全員協議会……３面
○議決した議案……４面
○常任委員会等の構成……４面

市長から平成十四年度の一般会計及び下水道事業など六特別会計の決算認定議案が提出されました。

【決算等審査特別委員会設置】

議会では決算等審査特別委員会（委員長＝古屋嘉廣議員）を設置し、予算の適正な執行と行政効果、予算審議時の指摘事項の反映状況、第三次鎌倉市総合計画後期実施計画の諸施策の遂行状況などを中心に五日間にわたって審査を行いました。審査では、担当部課への質疑を行うとともに、重要な課題については市長にただしました。

【本会議において各会計の決算を認定】

十月二日の本会議において委員長から審査結果の報告があり、討論の後、採決が行われました。その結果、一般会計及び下水道事業、国民健康保険事業の二特別会計を多数により、その他四特別会計を総員の賛成により認定しました。

賛否の状況は次のとおりです。

◎一般会計

【賛成】民政クラブ、鎌倉同志会、公明党、改革鎌倉、無所属

【反対】日本共産党、ネットワーク鎌倉

◎下水道事業特別会計・国民健康保険事業特別会計

【賛成】民政クラブ、鎌倉同志会、公明党、ネットワーク鎌倉、改革鎌倉、無所属

【反対】日本共産党

◎大船駅東口市街地再開発事業など四特別会計

【賛成】総員

施設建設が予定されている今泉市営住宅跡地

なお、議会では認定に当たり、今後の市政執行に向けて、次の二点について意見を付しました。

《意見要旨》

◎介護保険サービスの充実について

本市における介護保険サービスについては、特に特別養護老人ホームの入所待機者が増加している現状があり、早期の施設整備が必要とされています。この現状を踏まえ、建設が計画されている稲村ガ崎、今泉の二カ所の同時進行も視野に入れ、地域バランスを十分考慮し、施設整備目標の実現に向け積極的に取り組むよう要望しました。また、施設整備の遅れから需要の増大が予測される居宅サービスについても、供給体制の一層の充実を図るよう要望しました。

◎産業振興について

本市では、鎌倉市産業振興計画を策定し、事業者や関連団体が自助努力することを前提とした上で、産業を活性化させるための具体的な施策などを総合計画実施計画に反映させ、関係者の取り組みを可能な限り支援しようとしています。このことを着実に具体化していくことはもとより、全国の自治体における地域の特色を生かした先進的な取り組みについて情報を収集し、本市でも実施可能なものは関係者を交えて前向きに検討するなど、産業の活性化に向けてさまざまな面から積極的な支援を行うよう要望しました。

補正予算を可決

市長から一般会計及び国民健康保険事業特別会計の補正予算が提出され、審議の結果、総員の賛成により可決しました。

◇一般会計

補正の内容は歳入歳出いずれも一億五千二百六十万円を追加するもので、補正後の総額は五百四十三億七千九十万円となります。歳出の主なものは、次のとおりです。

総務費…「明日のかまくらを創る市民一〇〇人会議」開催など次期基本計画策定に要する経費などの追加。

民生費…次世代育成支援対策推進法施行に伴う行動計画策定のための市民ニーズ調査委託に要する経費の追加。

衛生費…紙類等資源物収集処理委託契約の変更に要する経費の追加。

土木費…用地所有権の調停に係る和解金、有害鳥獣の捕獲件数増加に伴う管理対策に要する経費などの追加。

教育費…幼稚園就園奨励費補助金などの追加。

◇国民健康保険事業特別会計

補正後の総額は百二十九億五千二百二十万円となります。

議会新役員決定

九月十日の本会議冒頭において正・副議長の選挙が行われた結果、議長に白倉重治議員（鎌倉同志会）、副議長に澁谷廣美議員（民政クラブ）が選出されました。

本市議会では、正・副議長など議会の各役員について、申し合わせにより一年の任期としています。昨年は正・副議長の候補者がいませんでしたが、本年は役員選考委員会において、協議・調整した結果、議長候補には白倉重治議員、副議長候補には澁谷廣美議員を選出しました。九月四日には、議長及び副議長候補者の所信を聞く会が開催され、議会運営に対する考え方などを聞きました。

【議長選挙の結果】

白倉重治議員　十五票
児島　晃議員　五票
無効票　七票

【副議長選挙の結果】

澁谷廣美議員　十七票
吉岡和江議員　五票
無効票　五票

議長あいさつ

白倉　重治

市議会議員当選三回
議会運営委員長、観光厚生常任委員長などを歴任
（鎌倉同志会）
今泉台　六十八歳

議会は、市民に理解され、信頼されなければなりません。

市民の代表者、代弁者として選出された議員で構成する議決機関であり、行政執行の監視機関です。議員はその職責を十分認識し、常に中立・公正であり、倫理を厳正に守り、その言動は市民の期待に十分応え、信頼されなければなりません。大いに議論をし、市民に期待される活力ある議会を目指したいと考えます。

九月定例会において、議長の職を担うことになりました。市民にわかりやすい、開かれた議会を目指し、歴史と伝統のある鎌倉市議会の権威と品格を守るとともに、議会の刷新も図って参りたいと思います。市議会へのさらなるご協力、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

副議長あいさつ

澁谷　廣美

市議会議員当選四回
監査委員、議会運営委員長、観光厚生常任委員長などを歴任
（民政クラブ）
岡本　五十二歳

地方議会は、市民にとって最も身近な存在です。また、民主主義を体現することのできる大切な場でもあります。さまざまな市民の立場に立った行政施策を推進していくためには、それぞれ、意見は違っても議論を尽くして結論を導き出す。そして、導き出した結論には必ず説明責任を果たすこと。このことの努力の積み重ねが、市民の負託に応える方法だと考えています。

この度、九月定例会において、副議長に就任いたしましたが、その職責の重さを痛感しております。議会が、市民の信頼と期待に最大限応えられるよう、皆様の意見やご提案を伺いながら、公平・公正な議会運営に努め、活力ある議会を目指し、努力して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

監査委員を選任

藤田紀子監査委員

市議会議員当選三回
議会運営委員長、総務、文教各常任副委員長などを歴任
（公明党鎌倉市議会議員団）
由比ガ浜　五十七歳

九月十日の本会議において、市長から議会選出の監査委員として藤田紀子議員を選任したい旨の議案が提出されました。議会は多数の賛成でこれに同意しました。